環境負荷低減の取組の「見える化」の推進



農産物の環境負荷低減の取組の「みえる化」について①

○ 環境負荷の少ない農業の取組を拡大していくためには、「見える化」により消費者の理解を深め、購買行動の変容を通じて、生産者の努力を応援することが重要。
○ このため、消費者に分かりやすく環境負荷の度合いを伝える「みえるらべる」を令和６年３月からスタート。
○ 道内ではこれまで143件（令和８年９月末時点）の「みえるらべる」の登録があり、イオン北海道での「たまねぎ」「ばれいしょ」「トマト」の販売や、道の駅等においてミニトマトを原料としたトマトジュース等の加工品の通年販売など、「みえるらべる」を貼った農産物を販売する動きが広がっている。

みえるらべる（みる＋えらべる）

★:削減貢献率　5%以上
★★:　〃　10%以上
★★★:　〃　20%以上



★:取組の得点1点
★★:　〃　2点
★★★:　〃　3点以上

温室効果ガス削減への貢献

栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定

$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}} = \text{削減貢献率(\%)}$$

生物多様性保全への配慮　※米に限る

＜取組一覧＞

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

対象品目：24品目

米、トマト(露地・施設)、キュウリ(露地・施設)、なす(露地・施設)、ピーマン（露地・施設）、ミニトマト(施設)、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、　みかん(露地・施設)、ぶどう(露地・施設)、日本なし、もも、いちご(施設)、茶

※括弧書きがないものは全て露地のみ

道内のスーパーや道の駅など100以上の店舗で「みえるらべる」を貼った農産物を販売

※時期により、販売されていない農産物ががあります。



イナゾーファームのトマトジュース（士別市）
※通年販売　道の駅「羊の町侍・士別」





JAきたみらいのサステナブルたまねぎ（北見市）
JAきたみらいのサステナブルじゃがいも（北見市）
イオン北海道（道内109店舗）



平野農園のお米（恵庭市）
恵庭道の駅「かのな」



JAきたみらいのEcoみらいたまねぎ（北見市）
コープさっぽろ（北見市３店舗）

峯農産食品(株)のお米（岩見沢市）
(有)山石前野商店



(株)寅福のサステナブルトマト（上ノ国町）
イオン北海道（道内109店舗）
／サッポロドラッグストア（一部）





「みえるらべる」
延べ登録数
143件

農産物の環境負荷低減の取組の「みえる化」について②

○　全国各地の小売店等において、みえるらべるを表示した農産物等の販売が広がっている。

神明（全国）：米穀卸売

・化学農薬・化学肥料の使用低減や生物多様性保全に取り組む、JAみやぎ登米、JAたじまの**米**を全国のイオン等で販売。



コープおきなわ（沖縄）：スーパー

・意欲ある地域の農業者が全国で初めて**ピーマン**の「見える化」に取り組む。

・環境に配慮して栽培された**ピーマン、にんじん、きゅうり、なす、ばれいしょ**を販売。



ゆめマート（長崎）：スーパー

・ゆめマート新大村店において、化学農薬・化学肥料の使用低減やバイオ炭の施用により栽培された**きゅうり**を販売。



道の駅恐竜渓谷かつやま（福井）：道の駅

・化学農薬・化学肥料不使用や生物多様性保全に配慮して栽培された**米**を販売。



グリーンコープ生協（九州、広島、山口）：宅配

・化学肥料不使用で栽培された**白ねぎ**を販売。

マックスバリュ（三重）：スーパー

・三重県の店舗で**トマト、白菜、大根、かんしょ、白ねぎ、キャベツ、にんじん、ばれいしょ、ほんれん草、レタス**を販売。



イオン北海道（北海道）：スーパー

・北海道内のイオン全店舗において、化学農薬・化学肥料を減らし栽培された**玉ねぎ、ばれいしょ**を販売。



寒河江サービスエリア（山形）：SA

・中干し期間の延長や秋耕を実施して栽培された**米**を通年販売。パッケージにラベルを印字。



ヤオハン（栃木）：スーパー

・栃木県内の8店舗において、化学農薬の使用低減やもみ殻・牛糞等を使用した堆肥の施用により栽培された**トマト**を通年販売。



秋田県立増田高等学校（秋田）：学校

・生徒が環境に配慮して育てた**米**でGHG削減貢献・生物多様性保全の両方で星３つを取得。

・校内や地域イベントのほか、令和7年11月に東京・大丸の催事において生徒自らが対面販売。



さとふる（Webサイト）：ふるさと納税

・令和6年12月より、**米・野菜**等の「見える化」農産物の返礼品を紹介する特集ページを公開。

・特集ページには、みえるらべるや「見える化」の取組の説明を掲載。



「見える化」の流れ

生産者・事業者等

算定シート利用者登録

農水省

算定シートの送付

指定様式等を１週間以内に連絡

生産者・事業者等

算定シートの入力・報告

＜使用する栽培データ＞
※入手不可のデータについては標準値の使用が可能

○収穫量、収穫面積
○作物残さの取扱（すき込み、焼却、持ち出し）
○(水田のみ）中干しの状況、秋耕
○バイオ炭（種類と施用量）
○緑肥の種類
○農薬、肥料、堆肥：使用量
○燃料・電力：消費量
○（水田のみ）生物多様性保全の取組　等

算定シートの使い方解説動画はこちら↓

地方農政局・拠点も一体となって入力・算定を支援します

農水省

算定支援

入力値の確認
算定結果確定
登録番号付与
（１～２週間程度）

生産者・事業者等

（星がついた場合）登録番号の受領

生産者・事業者等

みえるらべるの表示を検討

ラベルデータのダウンロード
ラベルシール・ポップ等資材のサイズ・必要枚数等を農水省に連絡
（必要に応じて）

農水省

資材の送付



生産者・事業者等

資材の受取・貼付

ラベル貼付
ポップの掲示 等



販売

農水省「見える化」ホームページ

お問合せ先や利用者登録・算定報告のリンク、最新の販売実証状況を掲載しています

「環境負荷低減活動定着サポート」により、支援できる場合がありますので、都道府県にご相談ください。